

平成22年度

菊池市成人式



井手裕美子さん
(泗水中学校出身)

二十歳の誓い

成人式という人生の大きな節目を、共に学び親しんだ友人たちと迎えられたこと、また両親や地域の皆さんに支えられ育ったこの菊池で迎えられたことを心からうれしく思います。二十歳になる直前まで、10代でやり残したことはないだろうかと考えていました。その時、家族などから「これからできることがいっぱいある」と教えられ、とてもうれしく勇気づけられました。

実行委員会では、式に合わせてペットボトルキャップを集める計画をたてました。キャップ400個で10円のワクチンと交換できます。一人分のワクチンは20円です。私たちにとっては小さなことでも一人の子どもの命が救えます。こんな身近に世界の手助けになる機会があるので、今後も継続して集めていきたいと思っています。継続といえ、二十歳になってから日記を書き始めました。誰にも見せないの、不満や悩みも書くことができます。一月前にとっても悩んでいたことが今では笑えるようになっていて、少しずつ成長が目に見えて楽しいです。これ

は自信にもつながっていくと思います。まだ学生ですが、日記と同じように楽しく続けられるやりがいのある仕事をみつきたいです。

最近まで、大学に行っている意味が見つからなくて悩んでいました。今は尚綱大学文化言語学部の学生として日本の文化だけではなく、世界について知識を深めることを楽しんでいます。特に韓国語を学ぶことが楽しくて、ハングル検定や学内の弁論大会に力を注ぎました。何かに力を注げることは幸せなことだと思います。19歳までは何かに進んで挑戦することが少なく、失敗を避けることばかりしていました。しかし、成人式の実行委員になることをきっかけに、失敗を恐れず何事にも挑戦してみようと思いはじめました。

愛情を込めて育ててくれた両親には、感謝の気持ちでいっぱいです。いつでも私の気持ちを尊重してくれて、とても幸せな環境で育てられたことを強く実感します。これからも自分の気持ちを真つすぐ貫く根強い大人になれるように精一杯がんばります。



①右から成人式実行委員会の井上 航委員長、野村恭之介さん、井手裕美子さん、城 慎一郎さん、坂本千遥さん、濱上 渚さん。実行委員会は、司会の佐々さんを含め7人で活動。教育委員会と共に昨年9月頃から会議を重ねました②七城天守太鼓保存会による太鼓演奏③④晴れやかな着物やスーツ姿の新人人たちが、文化会館に集まりました

1月9日(日)、文化会館で菊池市成人式が開催されました。今年の新人は616人です。

成人式実行委員会の佐々ますみさんによる司会と七城天守太鼓保存会による太鼓演奏が始まった式には、新成人約500人と保護者、関係者などが集まりました。野村恭之介さんによる開式の言葉に続き、福村市長から式辞がありました。濱上 渚さんが来賓紹介と祝電の披露を行い、佐々さんへ司会を交代しました。

暗転したステージが明るくなると、実行委員会のメンバーと当時担当などで関わりのある先生たち6人が現れました。当時菊池北中学校に赴任していた澤田みほ先生は「大事なものは友達。相談や悩みを聞いてもらえる、そんな友達をずっと大事にしてほしいです。立派な社会人になってください」と新成人へお祝いの言葉をかけました。また、当時旭志中学校に赴任していた久保敦嗣先生は「責任と自覚を持った大人になり、あきらめない強い心を持ってください。そして選挙に参加して、菊池を担う人になってください」など新成人に4つの約束をお願いし



①司会を務めた佐々ますみさん②喜納政直先生(当時菊池南中学校)③実行委員会の呼びかけで行われたペットボトルキャップ回収④横田正美先生(当時七城中学校)

ました。最後に、当時泗水中学校に赴任していた浦田安之先生から「20年間育ててくれた家族に『ありがとう』を伝えてください。長い人生にはたくさん困難があると思いますが、感謝の気持ちを持ち、夢と希望を持って生きてください」と語りかけました。

その後、新成人を代表して井手裕美子さんと城 慎一郎さんが二十歳の誓いを行い、坂本千遥さんが交通安全宣言を行いました。最後に、実行委員長である井上 航さんが「これからの人生で困難に遭うこともあるけれど、立ち向かう人間になりたい」とこれからの抱負などを話しました。

式終了後、新成人たちは出身中学ごとに記念撮影を行い、懐かしい友達などと新しい門出を祝っていました。